

医療機関における職場環境改善活動 安価な市販品を用いた整理整頓		
ガイドラインステップ	キーワード	
1 - 4 12 16	(6つ以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・資材管理 ・継続の重要性 ・簡単・安価・即効性 ・チームワーク
改善・取組みの背景と課題	<p>平成 18 年から 20 年 にかけて、メンタルヘルスアクションチェックリストを用いた職場環境改善プログラムに従い、参加型職場環境改善活動を実施した。</p> <p>病棟ナースステーションの環境整備、物品の整理整頓を進める中で、資材庫の管理が問題として浮上した。</p> <p>日々の業務を支える物品、緊急時に必要な物品は一定の在庫が必要であるが、その管理は、病棟管理の中では患者ケアに比較してはるかに優先度は低く、日々の多忙な業務の中での管理は困難となっていた。結果として必要な物品を探す手間と時間を要し、欠品や期限切れ廃棄物品、不安定な足場の中で探す際の身体負荷などが、出現していた。</p>	
改善・取組みの着眼点	<p>資材庫の整理整頓を行うに当たっての目的</p> <p>必要な物品を短時間に安全に、誰でも見つけることができる。</p> <p>欠品・期限切れ・破損・汚染のない物品管理</p> <p>整理整頓の維持</p> <p>により、身体的・精神的業務負担の軽減化、および緊急時の迅速な対応を可能とすることなどによって得られる医療の質の維持が期待できる。</p>	
改善・取組みの概要	<p>資材庫の整理整頓を行うに当たって、全スタッフの意見を組み込みながら、計画を立てた。</p> <p>必要な物品名と必要な数</p> <p>期限のあるものとないものとの仕分け</p> <p>収納物品の選択、安価な市販の透明衣類収納ボックスにラベル表示</p> <p>衣装箱の選択購入、</p> <p>配置予想図の考案</p> <p>実施時の担当チーム作り</p> <p>搬出係、期限切れ・破損・汚染物品の仕分け係、物品分類係、収納係、</p> <p>ラベル表示係、搬入係、司令塔係</p> <p>物品配置図の表示(定位置設定の強化 資材庫扉と病棟内に掲示)</p>	

<p>写真・図表・イラスト</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>改善後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>水平展開事例 1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2</p> </div> </div>			
<p>効果</p>	<p>必要な物品を誰もがを見つけやすい状態になった。 緊急時にも迅速な対応が可能となった。 足場が確保でき、探すときの思わぬ事故が防止できた。 在庫状況が一目で確認でき、欠品や期限切れ廃棄の防止が可能となった。 衣装箱収納という清潔感のある保管方法により、破損・汚染が防止できた。 役割分担の中、ほぼ全スタッフが関与することで達成感を共有でき、チームワーク向上と資材庫管理の維持に貢献した。 安価な透明衣装ケース利用による整理整頓は、他病棟へ水平展開を遂げた</p>			
<p>このGPSの経験から学ぶことができるポイント</p>	<p>改善活動開始当初は、趣旨に賛同はするものの他のスタッフからの協力は得られず、担当者の整理整頓の呼び掛けや努力は、さながら賽の河原で石を積む状態であった。しかし、改善活動を続ける中で、環境整備による仕事のやりやすさを実感し、活動の意義が伝わった。また、経過報告会での自部署の評価・表彰は、改善活動への興味協力およびチームの一員としての自覚を生み、チーム力強化につながった。他部署による改善事例の採用も、自部署の自己評価の向上に貢献した。</p> <p>改善活動は、継続する中でその手技・実施方法などが上達し、参加スタッフの自己効力感の上昇と部署のチームワーク強化をもたらす。 安価で簡単、即効性のある改善は伝搬する。</p>			
<p>参考資料</p>	<p>[医療機関におけるメンタルヘルス向上のための職場環境チェックリスト] 吉川徹編 労働科学研究小出版部</p>			
<p>投稿者</p>	<p>坂田知子</p>	<p>e-mail</p>	<p>ftoku@csf.ne.jp</p>	<p>2009年12月14日</p>